

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	慢性病看護学特講演習(修論コース) Seminar/Practice in Advanced Nursing Care of Chronic Illness			担当 教員	池田清子(専任)	
開講年次	1年次	単位数	6単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	ゼミ・実習	
選択必修	選択	時間数	270時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		慢性病者の生活に生起する現象の探求、看護援助モデルの開発とその評価について、実習を含む実践的検討と文献抄読等による理論的検討を連関させて演習する。 関心テーマに関する文献抄読を進め、焦点化させた実習やゼミを通して、現象探求の方法論、看護援助モデル開発のプロセスを実践的に学ぶ。						
授業のキーワード								
講義回数	授業内容及び計画							
	<p>ゼミと実習を並行して、もしくは時期を分けて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 慢性病看護領域における関心テーマに沿って文献検索・検討を進め、焦点を明確化する。 慢性病看護領域における現象の探求、看護援助モデル開発の基礎のいずれかを確認した上で、適切な実習施設・場を選択し、実習を行う。 実習の一環として実習計画書の作成、施設への協力依頼等の交渉も指導のもとに行う。 実習記録をもとに、データの記述・解釈や看護援助内容の新奇性・的確性・患者結果等について、ゼミを行う。 実習は概ね、2週間程度を2回(9月～10月、2月～3月)行い、修士論文研究計画書につなげる。 <p>レポート作成 関心テーマに沿って、実習内容を文献と関連づけて考察する。</p>							
テキスト及び参考文献		適宜紹介する他、自身で検索した文献を準備すること						
成績評価の方法		ゼミ等での取り組み(70%)、実習レポート(30%)により評価する。						
教員から学生へのメッセージ		本講は、修論コースとCNSコースを分けて行うこととなります。修論コースの人は、修士論文テーマにつながることを意識して臨むこと。 また、関心テーマ等により本学実習施設以外での実習も可能なので、これも積極的に探索し、申し出て下さい。						